

広報

かわごえ環境ネット

2024年7・8月号 No.198

この季節、田んぼを渡る風は青々とした草の香りにあふれ思わず深呼吸したくなります。川越の入間川、小畔川沿いや新河岸川から東の方には田園地帯が広がり、その面積は約1,800haで市域の17%にあたります（2022年）。近隣の所沢市や狭山市では水田面積は少ないですが、これは地形的な要因で、片や台地、片や川越市は東側に荒川低地が広がっていて昔からの水田地帯です。田んぼは緑のダムとも言われ、環境面での貢献はとても大きいです。川越市の緑地率は約50%ですが、農地や河川が貢献しています。これからもこの田園風景が続くことを願っています。（賀登環）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2: **【報告】** 春の里山 自然観察 & クリーン活動 (4月20日) / 総会・懇親会 (5月25日)
- 3: **【報告】** 川越市内の川の一斉水質調査 (6月2日)
- 4: **【コラム】** 社会と環境について思うこと (28) 私ができることは何だろう～対話からうまれるもの～
自然を訪ねて (16) 景観地の自然再生とモニタリング活動
- 5: **【募集】** 環境対話カフェ (第1回) 聞いてみよう「ゴミを見直すお話し会」(7月27日)
【後援】 わたしたちの雨水フォーラム in 川越 (8月24日)
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー (2024年7月1日～8月31日)
ボタニカルアート (8) タカサゴユリ

残したい川越の風景 (16) 稲穂の向こうに川越市資源化センター (2022年8月19日撮影)



【報告】春の里山自然観察 & クリーン活動 (4月20日)

4月20日(土)「春の里山自然観察 & クリーン活動」を行いました。

春の日差しが降り注ぐ中、9時30分に川越南文化会館(ジョイフル)前に集まりました。昨年の活動日には絶滅危惧種の「キンラン」が確認しにくかったことや、ウワミズサクラが盛りを過ぎていたこともあったので、今回は早めの活動日を設定しました。

参加者は、3歳児から70歳代まで幅広い36名でした。広い「(仮称)川越市森林公園計画地」の一番奥までの長距離コースと「第2武蔵野ふれあいの森」までのお散歩コースに分かれて観察やクリーン活動を行いました。この場所を訪れるのが初めての方も多く、全体

約38haのうち市有地が約8haで、「森のさんぽ道」は借地であることに驚いていました。今回の大物のごみは自転車のフレームでした。近場の自治会から参加された方が違う視点での報告書を作って届けてくれたり、雑木林の現状を見てもらうことで、この場所の大事さがちょっとでも伝わったかなと思える一日

でした。参加ありがとうございました。

新緑の季節だけでなく、紅葉の季節もよいものですが、ナラ枯れの被害がひどいし、ジョイフル横の「森のさんぽ道」の駐車場がなくなったことで今後が心配な場所です。来年もこの自然観察 & クリーン活動が実施できることを願っています。(横山三枝子)



参加者全員の集合写真



長距離コース(大人の部)集合写真



お散歩コースの活動の様子



ヤマザクラの大木の周囲を測る



活動終了後のごみの分別

【報告】総会・懇親会 (5月25日) / 役員(理事・監事)の抱負

総会

5月25日(土)10:00-11:40に川越市立博物館視聴覚ホールにおいて2024年度総会が開催されました。出席者16名及び委任81名の97名の出席により、会員数190名の半数以上の出席者を得て総会は成立し、5つの議案すべてが原案通り可決・承認されました。今回の理事会において役員が改選され、10名の理事と2名の監事が決定しました(任期は2年)。理事長と副理事長2名は理事の互選により再任となりました。なお、「総会議案書」はかわごえ環境ネットホームページに掲載しています。

懇親会

総会終了後、総会会場前の初雁公園において懇親会を開催しました。参加者11名が弁当を食べながら和やかに懇談しました。(以上、小瀬博之)

役員(理事・監事)の抱負

小瀬博之(理事長、広報委員会委員長)

20年間理事長を務めてまいりましたが、1年目の新たな気持ちで臨みます。風通しのよい組織運営を心がけます。

増田知久(副理事長、社会環境部会代表)

自然と寄り添った川越の未来のため、ゆるやかにつながる環境活動の輪を拡げていきたいと思います。

横山三枝子(副理事長、渉外担当)

環境と観光は一字違い。ネットの活動が楽しくつながって広まるとよいなと、いまだ妄想中です。

飯島希(理事、広報担当)

これからの2年間も、多くの人とご縁をつなぎ、仲間を増やしていけるよう、環境活動を楽しみたいと思います。

石川真(理事、事業推進担当)

今年度はかわごえ環境ネットがさらに活性化していくよう積極的に関わられたらと思います。

賀登環(理事、自然環境部会代表)

街中のにぎわいが増すとともに周辺の自然は寂しくなりました。川越のよき自然の再生に力を入れます。

菊地三生(理事、広報担当)

緑を増やす活動とポイ捨てゴミを無くす活動を地道に進めたいと思います。以上ですがよろしくお願いたします。

福原時夫(理事、自然環境部会担当)

2年前に再加入して大変勉強になり、今後は理事として責任を持ちつつ楽しい活動をしていきたいと思います。

辰野聡彦(渉外担当)

川越環境保全連絡協議会の代表として、会員の皆様と企業の連携強化と環境活動の活性化に取り組みます。

山崎茂(理事、事務担当)

この2年は次期環境基本計画策定の年でもあり、行政・理事2つの立場で川越の環境保全に邁進してまいります。

神谷利一(監事)

今期から監事を務めさせていただきます。浅学非才の身ではございますが、何卒よろしくお願申し上げます。

松岡壽賀子(監事)

かわごえ環境ネットの発展に、皆様と協力しながら、誠実に対応していきたいと思っております。

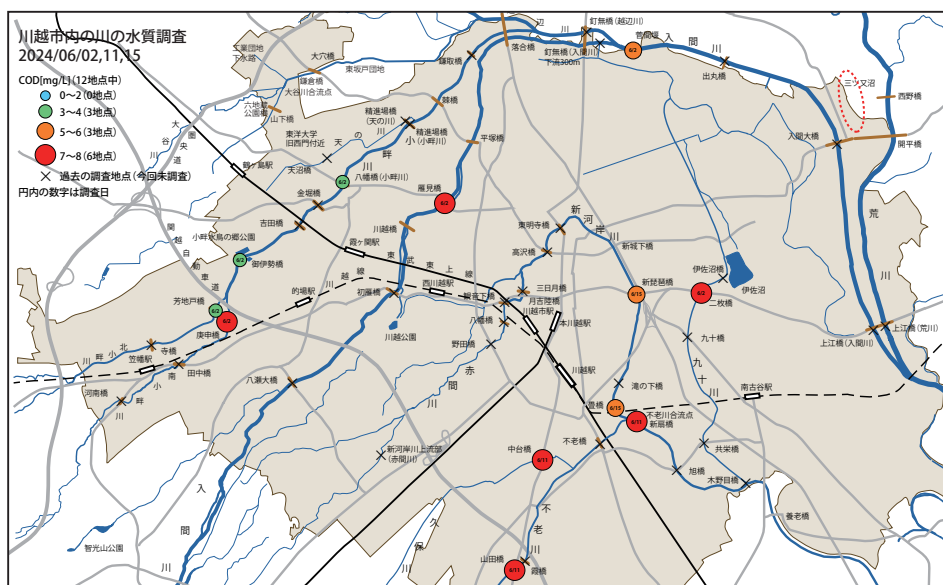


総会での役員紹介



懇親会

【報告】川越市内の川の水質調査（6月2・11・15日実施）



CODの水質調査結果（2024年6月2・11・15日午前採水・測定）

実施概要

毎年6月に実施される「身近な水環境の全国一斉調査」に参加する形で、本会では2005年以来川越市内の川の水質調査を行っています。

20年目の今年は全国一斉調査日の6月2日（日）を基準として、一部を11日（火）・15日（土）に実施しました。

参加者が4組5名と限られたこともあり、最小限で流域の水質の状況がわかる12地点の水質調査を実施しました。

調査結果

全般的に例年よりもCOD（化学的酸素要求量）が高い傾向にあり、0～2mg/Lはなし（2023年は3地点）、3～4mg/Lが3地点（同13地点）、5～6mg/L

が3地点（同2地点）、7～8mg/Lが6地点（同2地点）でした。

水質は常に変化しています。私が調査した6月2日午前の入間川の場合、当日の深夜に大雨があり、流量が増していました。雨は、本来清浄なものですが、初期雨水は大気や屋根などの建物、地面などの汚染物質を多く含むと言われています。また、川の流量が増すと川底や河川敷の汚濁物質も流れてくる可能性があります。さらに、新河岸川流域の一部では合流式下水道となっていて、大量の雨水が下水道に流入した場合は、未処理の下水が新河岸川に流出する場合があります。

水質は、流域全体の状況や長期的な変化も見ても要因を判断する必要がありますが、これまでの調査では、雨天後の川の水質は比較的よい傾向にありましたので、いろいろな状況があることを改めて実感することができました。

各調査者が採水したときの写真とコメントを併せて掲載します。

（小瀬博之）



南小畔川庚申橋から上流（6月2日）
わずかに濁りがあり水質はよくない



小畔川芳地戸橋採水の様子（6月2日）
田植えが終わっていて休耕田は草ぼうぼう



小畔川八幡橋から下流（6月2日）
土羽だった護岸が一部コンクリートに



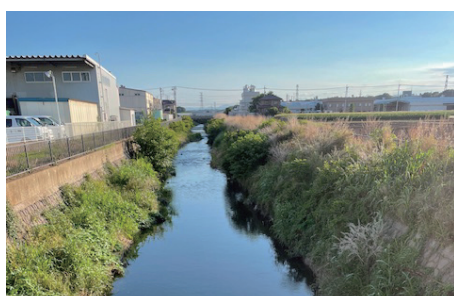
入間川雁見橋から上流（6月2日）
例年より濁っていて浮遊物と水量も多い



九十川二枚橋から下流（6月2日）
けっこう深くて水が淀んでいる



採水した水（6月2日）
入間川の水は沈殿物が多く見られる



不老川山田橋から上流（6月11日）
小魚数匹、アメンボ



新河岸川新琵琶橋から下流（6月15日）
橋梁工事中、水量は普段と変わらない



新河岸川豊橋から下流（6月15日）
魚体の大きな鯉が多数泳いでいた

【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (28) 私ができることは何だろう～対話からうまれるもの～

私がかわごえ環境ネットのことを知ったのは2年前。

近所でたまたま出会った方と地球環境の話になり、「夫が最近、何かしなくちゃと動いているのよ」との話から「何か手伝えることがあれば」と連絡先を交換した。

その方とはその後、所沢市の「マチごとゼロカーボン市民会議」を見に行った。かわごえ環境ネットの事業運営委員会にも連れて行ってもらった。そして、かわごえ環境ネットの活動として、『環境対話カフェ』という地域で環境のことを考えて対話する、という企画を実施した。この企画は今年も継続中である。

私は川越に30年ほど住んでいるが、20年以上活動をしているかわごえ環境ネットのことを知らなかった。かわごえ環境ネットに入会して3年目。未だ、私はかわごえ環境ネットのことについて、全く詳しくない。昨年は川越市環境計画見直し意見交換会に何度か参加させていただいたが、よくわからない

ことだらけ。そんな私が広報でコラムを書いているのだから、不思議な話だ。

そんな私から多くの方に伝えたいことは「知らなくてもいい」「誰かと話してみよう」ということだ。昨年行った『環境対話カフェ』では知ることよりも“対話”を重視した。緑が減っていく寂しさ、年々増していく暑さへの不安、それぞれいろんな思いを抱えていた。そして、何かできることはないかと考えていた。講演して下さった環境ジャーナリストの高橋真樹さんへの質問も多く出た。そこから、太陽光パネルや断熱の具体的な話が出たり、コンポストを始めてみたいという声も上がった。そこから、今年地域での具体的な行動につながりそうだ。

私たちの環境について思っていることを、まずは誰かと話してみる。そこから何かうまれるような気が、私はしている。

この文章は日曜日の午前中に書いている。その間、洗濯物を干し、娘から話しかけられ、今日の夕飯はどうしよう

かと頭の片隅で考えている。明日は仕事がある。みんな日常がある。環境のことばかり考えていられないけれど、環境は私たちの生活の土台も土台、誰しも無関係ではいられない。

まずは対話することから始めてみませんか？ (小川夕子)



環境対話カフェの様子



親しみのある小畔川を歩く

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (16) 景観地の自然再生とモニタリング活動

雑木林と畑が織りなす川越のふるさとの景観を残すことを目的に指定された「ふるさと緑の景観地」は50年近く経過しその姿を大きく変貌させています。景観はその姿をとどめていますが、林と農業の関わりは切り離され、利用されないまま荒れた林となっていました。

2020年から、この景観地の一角で畑にされた後、自然の遷移に任されていた林を、持ち主の了解を得て雑木林を再生する取り組みを始めました。ここの林は、クリ、アカメガシワ、そしてコナラが優先する林ですが、細い木が目立ちツル植物が絡みつき、人の入りにくい様相を呈していました。

この林を3年がかりで、ツル植物を撤去し、アカメガシワを伐採して、日当たりを確保してコナラの幼樹の発生と成長を促してきました。また、シノ竹などを刈り、落ち葉掃きを実行してきました。落葉は林内で腐葉土化して農家に堆肥として活用してもらいました。そうすることにより林床面が現れることでギンランの姿を見ることができるようにな

りました。

林の空き地には子どもたちの力も借りて、コナラを3年間で37本植えることができました。日当たりにより成長の差はありましたが、移植した実生は2年間で平均30cmの成長を観察することができました。あと5年ほど順調に成長すればコナラ林になることでしょう。

林の再生と合わせて生きもののモニタリングも行ってきました。その結果は、植物が166種、昆虫が199種、野鳥は31種、クモは22種、キノコは10種などが見つかっています。モニタリングはまだ途中なのでどんな生きものと出会えるのか楽しみです。生きもの観察をして特徴なのは、野鳥ではオオタカが姿を見せ、落ち葉掃き後にモズなどの冬鳥の姿を見つけることです。今年明るくなった林でキジを見つけました。ゆっくりと歩いていま

昆虫では、林で見られるノコギリクワガタ、アオオサムシ、コナラを食草とするアカシジミ、ウラナミアカシジミを毎年見かけます。今年初めて春に明るい林に4月限定のミヤマセセリとトラフシジミを見つけました。林では珍しいトンボも見られ、夏にはオオシオカラトンボやミヤマアカネが避暑に、冬にはホソミイトトンボが越冬に来ています。

今、自然再生がトレンドになっています。また、「落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産になっており、伝統的な循環型農業が見直されてきています。この活動を継続して次世代に雑木林と文化を継承できるように努力したいと考えています。(山中和郎・宮澤宏次(本会会員)、過昌司(福原水と緑の会))



北側から見た林の風景



コナラの植樹エリア



ギンラン

【参加者募集】環境対話カフェ（第1回）聞いてみよう「ゴミを見直すお話し会」（7月27日開催）

2024 かすみがせききた
環境対話カフェ

私たちにできることってなんだろう？
一緒に学びながら考えてみよう！

かすみがせききた
環境対話カフェとは…

私たちのいちばん身近な「環境」である霞ヶ関北。どうしたらもっと未来に繋がる地区にすることができるのでしょうか？環境対話カフェでは、SDGs / 気候変動の課題や、身近な課題にも焦点を当てながら、霞ヶ関北に住む私たちがこの地区の今と未来を考えていきます。お茶を飲みながら、お話ししながら、気軽に参加してみませんか？



第1回 聞いてみよう
ゴミを見直すお話し会

川越市資源循環推進課の方から川越市のごみの現状、取り組み、未来についてお話いただきます。質問タイム、参加者同士の対話の時間も設けています。

主催：かわごえ環境ネット、霞ヶ関北自治会環境部
申し込み：左のQRコードからお申し込みいただけます

日時
7月27日
土曜日 10時-12時

場所
霞ヶ関北自治会館

参加費
無料

イベント名：2024 かすみがせききた環境対話カフェ（第1回/全3回）聞いてみよう「ゴミを見直すお話し会」

日時：7月27日（土）10:00-12:00

場所：霞ヶ関北自治会館（川越市霞ヶ関北3-12-6）

参加費：無料

定員：30名

主催：かわごえ環境ネット、霞ヶ関北自治会環境部

イベント概要：川越市資源循環推進課の方から川越市のごみの現状、取り組み、未来についてお話いただきます。質問タイム、参加者同士の対話の時間も設けています。

かすみがせききた環境対話カフェとは… 私たちのいちばん身近な「環境」である霞ヶ関北。どうしたらもっと未来につながる地区にすることができるのでしょうか？

環境対話カフェでは、SDGs / 気候変動の課題や、身近な課題にも焦点を当てながら、霞ヶ関北に住む私たちがこの地区の今と未来を考えていきます。お茶を飲みながら、お話ししながら、気軽に参加してみませんか？

申し込み：右のQRコードから申し込みいただけます。（霞ヶ関北自治会の方以外でも参加できます）



2023年の第1回環境対話カフェの様子

【後援】わたしたちの^{あまみず}雨水フォーラム in 川越（8月24日開催）

わたしたちの^{あまみず}
雨水フォーラム
in 川越

2024年8月24日（土）
午前9:30~11:45 午後13:00~16:30
雨水を学び 雨水のゆくえを考える

会場：ウエスタ川越
埼玉県川越市新宿町1-17-17

Let's Action!

主催：わたしたちの雨水フォーラム実行委員会
協賛：パイオニア株式会社川越事業所 後援：かわごえ環境ネット
お申し込みのワークショップ 参加費無料で申し込み可能！1000円アクション券の市民優待です
問い合わせ・申込み wata.ac2024@gmail.com

タイトル：わたしたちの^{あまみず}雨水フォーラム in 川越

日時：8月24日（土）9:30-11:45, 13:00-16:30

場所：ウエスタ川越（川越市新宿町1-17-17）午前は1階第1～3会議室、午後は2階第1～2会議室

主催：わたしたちの雨水フォーラム実行委員会

協賛：パイオニア株式会社川越事業所
後援：かわごえ環境ネット

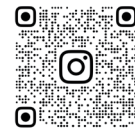
プログラム：午前は熊本県立大学 島谷幸宏先生、東京都立大学 横山勝英先生、雨水市民の会 笹川みちるさん、(有)栗原造園 栗原薫 セミナー形式で各地の事例から学びます（参加費3,000円）。午後は滝澤恭平さんの事例紹介からス

スタート。住民参加の取り組み事例をヒントに、私達が今始めるアクションについてディスカッションします。モデレーターは兵庫県立大学高田知紀先生です。

プレ企画：8月23日（金）9:30-11:00
こどもと一緒にワークショップ「雨水ってどこにいくの？」開催（申込必要）

問い合わせ・申し込み：メールで wata.ac2024@gmail.com

SNS：詳しい情報、お知らせは Facebook, Instagram 「わたしたちのアクション」で発信します。Facebook Instagram



WATA_AC2024

かわごえ環境ネット会員募集

個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。会員外でこの冊子を手に取られた方、インターネットでご覧いただいている方、ぜひご入会くだ

さい。

会員特典 ①本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・E-mailでお届けします。②本紙及び本会インターネットへの記事掲載やチラシを同封できます。③本会主催の事業へ優先して参加できます。④総会、専門委員会活

動へ参加できます。

詳細 かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課）に問い合わせるか Web サイト (https://kawagoekankyo.net) をご覧ください。



入会案内

報告

理事会・事業運営委員会

5月22日(水)

2022年5月28日に決定した理事による最後の理事会でした。

1金子晃理事の退任(所属団体退会のため)、2総会のキャスティング、役割分担の決定、3川越市上下水道事業経営審議会委員の推薦:現在も同委員を務めている横山三枝子副理事長を推薦、4川の一斉水質調査の調査者と調査場所の確認、5社会環境部会の事業計画案について報告、6春の里山自然観察&クリーン活動の実施報告、72023年度会計監査における指摘事項並びに「会計運用に係る提言」について、8「2024森フェス in 川越」(11月16日、予備日11月17日)におけるトイレ(防災トイレ対応を検討)、9「わたしたちの雨水フォーラム in 川越」の後援申請(6月理事会で審議)、106月26日実施の川越市環境計画見直し意見交換会における「提言」の提出と川越市との協議の場の要請、11個人会員3名が退会し、5月22日現在の会員数は個人141、民間団体22、事業者26、行政1の計190会員

(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

2024年度社会環境部会活動計画

以下のようになっています。

1環境対話カフェ1「ゴミを見直すお話し」日時:7月27日(土)10:00-12:00
場所:霞ヶ関北自治会館 共催:霞ヶ関北自治会環境部

概要:講師に川越市資源循環推進課の職員をお招きし、市内のゴミの状況について伺い、参加者と共にゴミ問題についての意見交換をします。

2環境対話カフェ2「地域コンポストづくりの勉強会」時期:9月上旬

3環境対話カフェ3「地域コンポストづくりワークショップ」時期:9月中旬

4「雨水の普及活動」時期:未定

活動案の相談は随時対応

社会環境部会では年度期間中においても会員から環境活動の企画提案があれば、臨機応変に対応します。活動案の相談がありましたら、事務局または社会環境部会代表まで連絡ください。

(社会環境部会代表 増田知久)

自然環境部会

5月例会は10日(金)6名参加 市役所地階修養室にて開催された。

活動報告

1「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動:4月8日(月)15名参加 シェンランの森手入れ、4月22日(月)16名参加 希少種調査の打ち合わせ、5月13日(月)雨中止、5月27日(月)13名参加 希少種ノヤマトンボの調査、6月10日(月)17名参加 武蔵野第2ふれあいの森の手入れ、2池辺公園定例活動:4月9日(火)雨中止、5月14日(火)8名参加 生き物調査 植物93種、その他7種、6月11日(火)5名参加 生き物調査続き、3埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部:5月4日(日)川越水上公園観察会、4春の里山自然観察&クリーン活動:4月20日(土)参加者30名(2ページ参照)、5「下赤坂ふるさと緑の景観地」内の自然再生活動:毎週火曜日、6かわごえ里山イニシアチブ:4月1日から活動拠点として古民家借用開始

協議事項

川越版レッドデータブック作成の試案のため、希少種の再確認とその分担について話し合った。その他、会計担当の交代、コラム記事の担当者など。

(自然環境部会代表 賀登環)

予告・募集

会合

◆**広報委員会** 1 7月3日(水)・2 8月7日(水) 9:00-9:30

●**自然環境部会** (第2金曜日) 3 7月12日 14:30-16:00 (8月は休会)

◆**事業運営委員会** 4 7月17日(水) 9:00-10:00 (8月は休会)

◆**理事会** 5 7月17日(水) 10:00-11:30 (8月は休会)

★**川越市環境計画見直し意見交換会** 6 8月28日(水) 9:00-11:00

会場: 12オンライン(URLは委員に別途案内)、36オーク2H2会議室(川越市郭町1-2-2)、45川越市役所地階修養室(川越市元町1-3-1)、*3は会員が、6はどなたでも参加できます。

自然環境部会の活動

★A「(仮称)川越市森林公園」計画地

植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日) 7月8・22日(月) 9:30-12:30 (8月は休止) 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★B池辺公園定例活動(毎月第2火曜日、8月は第1火曜日) 7月9日・8月6日(火) 9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302)

ABの問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

★C虫の観察会 7月27日(土) 9:30-12:00、(仮称)川越市森林公園計画地、20名募集、川越市共催

申込先:Cは7月1日(月)10:00から電話で環境政策課(Tel.049-224-5866)

広報委員会

2024年9・10月号(No.199, 9月1日発行)投稿募集(会員対象)

提出期限:8月8日(木)

提出方法:原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

本会「ホームページ」「note」への投稿会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.netへご連絡を。

6-8ページの記号凡例 ★:本会主催・後援等一般公開行事 ●:本会会員対象行事 ◆:本会理事・委員対象会合 ◎:本会会員等主催のイベント等 ○:その他(個別記事参照)

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (hatsukarinosato@googlegroups.com, 070-5599-2623)

近況報告

6月1日(土) 田植えが終わり、6月9日(日)に福田地域2か所にホタルの幼虫200匹を放流しました。ホタルが自然発生できるように生きものにやさしい田んぼの環境づくりをますます目指していきます。

予告



ホタルの幼虫の放流

1 7月13日(土) 午前マコモで盆ござ、牛・馬づくりワークショップ、2 8月10日(土) 午前・午後大ござづくりワークショップ。参加希望の方は当会にお問い合わせください。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (049-246-9319)

予告

◎おいしく・楽しく農業体験 場所: 明見院(川越市今福677) 近く、会費: 1,000円(年間)、7月13日(土) 8:00-10:00ごろ 大根、ニンジン畑の片付け他(8月はお休み)

小畔川の自然を考える会

賀登環 (049-234-9366)

予告

今年度の予定: 9月28日(土) 小畔川魚とり遊び、10月20日(日) 魚類調査、11月24日(日) 魚類調査。詳細は次回お知らせします。

川越フォレストクラブ

賀登環 (049-234-9366)

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地「リュウブの森」の手入れ 「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていない公有地やそれにつながる民有地を、動

力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した生態系保全の手入れを行っています。奇数月の第2水曜日8:30-12:00が活動日です。次回は9月11日(水)で新しいフィールドになります。

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (hkose@toyo.jp, 049-239-1532)

報告

1 5月11日(土): 8名の参加でこもれびの道沿いの下刈り、残す植物の保護と坪刈り、枯損木伐倒、つる切りなど、2 6月1日(土): 鶴ヶ島市役所「つるがしま市民環境まつり」に出展、3 6月8日(土): 10名の参加でこもれびの道南側エリアの下刈り、残す植物の保護など、4 6月15日(土)は刈払機による安全除草作業の実技講座を、講師の塚本秀貴さんを含めて10名で実施



1 こもれびの道沿いの下刈り



2 盛況だったつるがしま市民環境まつり



3 しばらく下刈りしていない場所は藪に



4 刈払機の安全除草作業を実践的に学ぶ

予告

◎里山林保全活動 7月20日(土) 8:30-16:00 (8月は休止)、作業: 下刈り、枯損木の処理、残すべき植物の保護など 場所: 東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、定員: 15名(高校生以上、事前予約必要)。詳細は下記の特設サイト(6月新規開設)にて。

予告・報告特設サイト <https://sites.google.com/toyo.jp/toyokomorebi>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野(049-222-1731, 当日090-7003-8617)

予告

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日) 集合: 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止

1 7月14日(日) 10:10-12:00 古代蓮が咲きカイツブリやカルガモのヒナは無事に育っています。2 8月11日(日) 10:10-12:00 野鳥の種類は少ない時期ですが、チュウサギ、アマサギなどのサギの仲間を観察します。

持ち物: 筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費: 一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

個人会員からのお知らせ

福岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館(049-245-3581)

予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場: 高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費: 無料。持ち物: 直近2~3か月分の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。1は実験をしたい方は500mLくらいのペットボトルに調べたい水を入れて持参。

参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。個々の取組が減災・防災につながります。

1 7月11日(木) 10:00-11:30 「生命力を高める生活~飲むこと編~」~「雨水の活用を考える」中・高でも行う理科の実験を体験してみよう~

2 8月7日(水) 10:00-11:30 「生命力を高める生活~空気編~」~「お日様の力でお茶や料理ができたらいいな」ソーラークッカー、ソーラーボトラーを使ってお湯を沸かしてみよう~

2024年7月

1 月	○ 10:00 「虫の観察会」受付開始
2 火	
3 水	◆ 9:00 広報委員会
4 木	
5 金	
6 土	★ 9:30 田んぼの生きもの調査(受付終了)
7 日	★ 9:30 キノコの観察会(受付終了)
8 月	★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
9 火	★ 9:30 池辺公園定例活動
10 水	
11 木	◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
12 金	● 14:30 自然環境部会
13 土	◎ 8:00 おいしく・楽しく農業体験 ◎ 午前 マコモで盆ござ、牛・馬づくりワークショップ
14 日	◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
15 月	海の日
16 火	
17 水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
18 木	
19 金	
20 土	◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動
21 日	
22 月	★ 9:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
23 火	
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	★ 9:30 虫の観察会 ★ 10:00 環境対話カフェ「ゴミを見直すお話し会」
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	

2024年8月

1 木	
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	
6 火	★ 9:30 池辺公園定例活動
7 水	◆ 9:00 広報委員会 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
8 木	○ 9:30 本紙 2024年9・10月号 (No.199) 原稿投稿期限
9 金	
10 土	◎ 午前午後 大ござづくりワークショップ
11 日	
12 月	海の日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	★ 9:30 ワークショップ「雨水ってどこにいくの？」
24 土	★ 9:30 わたしたちの雨水フォーラム
25 日	
26 月	
27 火	
28 水	★ 9:00 川越市環境計画見直し意見交換会
29 木	
30 金	
31 土	

ボタニカルアート(8) タカサゴユリ

タカサゴユリは「タイワンユリ」「ホソバテッポウユリ」とも呼ばれています。海岸線付近から低地、高山帯まで幅広く分布する台湾原産の帰化植物です。100年ほど前に観賞用に日本に持ち込まれました。今では草地や道路際など至るところで見られるたくましいユリですが、数年すると消えてしまったり弱さも持ち合わせています。

(岡 治)



インターネットアクセス(QRコード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



かわごえ里山



Instagram



YouTube



note



こもれび隊

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

広報 かわごえ環境ネット
2024年7・8月号
No.198

発行日：2024年7月1日(第2版) 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel.049-224-5866(直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoeankyo.net>